

大阪市十三地域



主催:公益財団法人どうぶつ基金
請者:十三連合振興町会・神津地区連合振興町会
協働団体:十三地域ねこの会 大阪ねこの会
協力病院:一犬猫病院、山口獣医科病院
期間:2月24～25日

地域の特徴

【大阪市の現状】

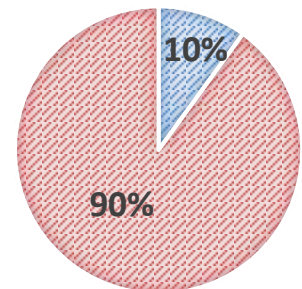
区分 自治体名	猫									
	引取り数				処分数					
	飼い主から		所有者不明		返還数	返還数 のうち 幼齢個体	譲渡数	譲渡数 のうち 幼齢個体	殺処分数	殺処分数 のうち 幼齢個体
	成熟個体	幼齢個体	成熟個体	幼齢個体						
大阪市	182	119	73	2,303	1	0	124	109	2,552	2,313

大阪市では平成25年度1年間で2552匹の猫を殺処分している。

その内、仔猫は2313匹であり、殺処分される猫の90.6%が仔猫という現状がある。

殺処分数の割合

■ 成猫 ■ 幼齢個体



【十三地域の現状】

十三地域は、駅周辺には飲食店街、商店街、工場、住宅とが混在しており、多くの猫が生息している。

飲食店からの残飯や餌をあげられる方々も多いことからこのままでは、爆発的に猫が増加する危険性がある。

現状の被害状況としては、飲食店のゴミ荒らし、猫の交通事故、糞尿、餌の放置、店舗や住宅地への侵入、空き地での出産や死亡、猫の虐待事件などがあり、被害は甚大であった(申請書より要点を抜粋)。

プロジェクト経緯と実施内容

十三地域ねこの会代表奥谷氏及び大阪ねこの会副代表荒井氏・どうぶつ基金理事長佐上と合意がかわされ、十三連合振興町会、神津地区振興町会の申請を受け、十三地域ねこの会と大阪ねこの会と、一犬猫病院、ありす動物病院の協力の元、「さくらねこ一斉TNR無料不妊手術」を大阪十三地域で実施することになった。

無料不妊去勢手術チケットと、出張手術による一斉TNRによって目標頭数200匹のTNRを実施する。

本報告書は、「さくらねこ一斉TNR200匹無料不妊手術in大阪十三地域」のプロジェクトのうち、一斉TNRの報告をまとめたものである。

【実施内容詳細】

- 1) さくらねこ無料不妊手術チケット(一犬猫病院2月有効)100枚発行
※捕獲実施期間 1月29日～2月末まで
- 2) 獣医師団(山口獣医科病院)による出張手術 100匹(2月24日～25日)

協働体制

【主催 公益財団法人どうぶつ基金】
佐上邦久理事長・佐上悦子・小池英梨子

【獣医師】
山口獣医 小松獣医 池田獣医(ボランティア参加)

【共催 申請者】
十三連合振興町会・神津地区連合振興町会

【協力病院】
一犬猫病院・ありす動物病院

【協力団体】
十三地域ねこの会 大阪ねこの会

手術会場及びネコ保管場

手術会場:大阪府大阪市淀川区十三元今里1丁目 テクノパークビル4F

猫の保管:同上



会場の外観



準備前の会場の様子



手術後の猫の呼吸管理の様子



手術前の猫の様子

手術日程

2月23日(月)	
13:00	手術会場設営
15:30	協働ミーティング
16:00	解散

1月24日(火)	
8:45	朝礼
9:00	手術開始
12:15	昼食
13:15	手術再開
17:00	手術終了
17:30	撤収完了・終礼

1月25日(水)	
8:45	朝礼
9:15	手術開始
12:10	昼食
13:20	手術再開
15:00	手術終了
16:00	撤収完了・終礼

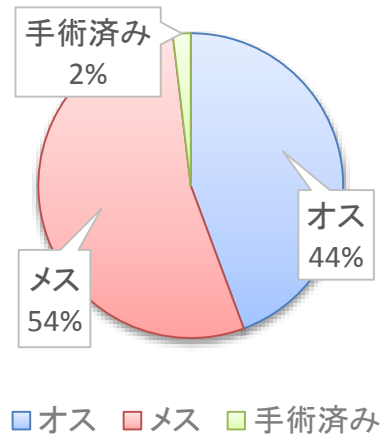
手術集計

TNR数

	オス	メス	耳カットのみ	計
2月24日	26	38	1	65
2月25日	21	19	1	41
合計	47	57	2	106

メス総数	メスのうち妊娠中	墮胎数
57	28	121

オスメスの割合



【処置内容】

1) 不妊去勢手術 2) 耳カット 3) ワクチン 4) ノミダニ駆除(レボリューション)

その他: 怪我治療

【その他特別医療行為】

- ・首の怪我の治療(7針縫合)1頭
- ・断尾手術1頭
- ・しっぽ怪我治療
- ・肘怪我治療
- ・脚怪我治療
- ・黄疸点滴
- ・左眼球欠損治療

執刀医



どうぶつ基金顧問
山口武雄獣医師



小松獣医師



池田獣医師
(ボランティア参加)

協働ボランティア数

協働ボランティア数(手術日)	
十三地域ねこの会	4名
大阪ねこの会	10名
学生団体KASP	6名
どうぶつ基金獣医	3名
どうぶつ基金スタッフ	3名
計	26名

使用捕獲器及びケージ数

氏名	捕獲器	ケージ	計
大阪ねこの会	70	—	70
十三地域ねこの会	10	—	10
どうぶつ基金	25	40	65
合計	105	40	145

手術の流れ



安定剤をかけます
↓
麻酔をかけます
↓
抗生物質を注射します
↓
ワクチンを注射します
↓
レボリューションをつけます



耳先カットをします
↓
毛刈りをします
↓
不妊去勢手術をします



手術あとを消毒して、綺麗に
します。
↓
耳掃除や目薬をします。

手術の流れ



術後ケアが終わった猫を腕タグと同じケージタグが付いているケージに戻します。



頻繁に呼吸を確認します。



ケージに入れた時にはずした腕タグで個体管理を徹底します。

十三TNRエピソード

二つの連合振興町会、二つの猫の会の協働事業

今回の十三地域のTNRは、神津地区連合振興町会と十三連合振興町会という十三地域にある2つの連合振興町会からの申請を受け実施しました。また、実施にあたり、十三地域猫の会と、大阪ねこの会、二つの地元ボランティア団体が尽力されました。



大学生がボランティア参加

十三地域で一斉TNRを行う半年前に、同志社大学で一斉TNRを実施したこともあり、同志社大学猫サークルDo-Catと、立命館大学猫の会RitsCatの大学生が手術日にボランティア参加してくれました。



十三地区

大阪・十三で野良猫の騒音や臭いが問題化しているとして、地元の動物愛護の市民団体が町会と連携し、全国規模で「殺処分ゼロ」に取り組む法人に依頼して、2月17・28日、地域内で捕獲した野良猫約200匹に対し、ボランティアで一斉に不妊手術を実施した。手術後には元の捕獲場所に戻す一方、騒音や臭いなどのトラブル減少に期待を寄せる。不妊手術の一斉実施は通常、行政主導が多い中で、市民団体と町会が自主的に取り組むのは珍しく、担当者は「都市部の対策のモデルケースになれば」としている。

(服部孝子)

野良猫200匹ボランティアで不妊手術 市民団体と町会が連携



十三のビルの空き室に設けられた臨時手術室。2月24、25両日、捕獲した野良猫を入れた籠が約100個も並ぶフロアで、3人の獣医師が手際よく不妊手術を進めた。周囲には大勢のボランティアのスタッフが待機、手術準備の手伝いをはじめ、野良猫の爪切りや耳掃除などにもあたった。

この一斉手術を発案したのは、地元の市民団体「十三地域ねこの会」だ。

十三地域では、これまでも「野良猫の鳴き声があるさかい」「臭いがする」などの苦情が多数、住民の不妊手術のため捕獲した野良猫の世話をするボランティア

大阪・十三

TNR Trap (捕獲)、Neuter (不妊手術)、Return (元へ返す)の頭文字の略。各地で野良猫の騒音や臭いが住民を悩ませる中、殺処分せずに問題を解決する手法として知られている。

「都市部でのモデルケースに」

から寄せられていた。こうした野良猫を排除せずに問題を解決しようと、地元町会で作る十三連合振興町会などにボランティアの不妊手術の実施を持ちかけたところ、町会側も快諾した。

府内の動物愛護団体「大阪ねこの会」のボランティアに協力を呼びかけたほか、手術は、全国で「殺処分ゼロ」のTNR活動を進める公益財団法人どうぶつ基金(兵庫県芦屋市)に依頼、医師の出張派遣と大阪市内の病院の協力に対応した。

24、25両日の出張手術では、約100匹に不妊手術を実施した。基金の担当者は「大規模な不妊手術は通常、地方自治体と実施しますが、町会との連携は初めて。成功させてモデルケースにした」と話す。

最初に呼びかけた十三地域ねこの会では、大阪ねこの会とも協力し、事前に野良猫の捕獲に向けて出沒地点を記録した地図を作製したり、町会の役員と会合を重ねたりして半年がかりで準備を進めてきた。

大阪市によると、市内では平成25年度、2552頭の野良猫が殺処分され、うち9割以上を子猫が占めているという。

奥谷弘子代表は「今回の取り組みを今後も続け、都市部で殺処分と住民の苦情の両方を減らし、他の地域への普及にもつながれば」としている。



平成27年(2015) 日刊25934号

3 | 3 [火]

産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN

発行所 三井物産株式会社 2015
〒556-8600 大阪市浪速区湊町2-1-67
☎ 大阪 06-6633-1221 (大代表)



大阪市十三地域

主 催：公益財団法人どうぶつ基金

請 者：十三連合振興町会・神津地区連合振興町会

協働団体：十三地域ねこの会 大阪ねこの会

協力病院：山口獣医科病院、一犬猫病院、ありす動物病院

期 間：2月24～25日